

はにしのこ

夏休み

教育目標

豊かに学び、共に未来のふるさとを拓く「はにしのこ」の育成
 〈徳〉 みんなと仲良くできる子ども
 〈知〉 よく考えて勉強する子ども
 〈体〉 心も体も強い子ども

大きく成長した1学期

昼休み、汗びっしょりになって校庭を走り回っている子どもたちの姿を見ていると、「どの子どもも皆、元気にすくすく育っているな。」と心から嬉しく思います。1学期も今日で終わりとなりますが、どの学年も子どもたち一人一人、この4ヶ月間の学びは大変大きなものがありました。

1年生は、学校生活にすっかり慣れ、生活科で育てている野菜のように、たくましくぐんぐん伸びています。

2年生は、1年生のお手本となるよう一生懸命面倒をみています。とてもよいお兄さん・お姉さんぶりを発揮しています。

3年生は、3人チームワークよく明るく楽しい毎日を過ごしています。複式学級で4年生とも仲良くがんばっています。

4年生は、3年生を上手にリードして、明るく楽しい複式学級にしようとして毎日生き生きはりきっています。

5年生は、エネルギーいっぱい、とてもパワフルです。誰にでも元気のよいあいさつができ、すばらしいです。

6年生は、さすがに最上級生。進んでよく働き、学校の中心となっていてとても頼もしいです。…どの学年も今後の成長が楽しみです。

今週の俳句

7月に紹介したものです。

閑かさや
岩にしみ入る蝉の声
(松尾 芭蕉)

うつくしゃ
障子の穴の天の川
(小林 一茶)

朝顔に
つるべとられてもらい水
(加賀千代女)

特に名句と言われているものを紹介してきました。毎回、子どもたちに意味を伝えていますが今はよく理解できなくても言葉の響きを胸に止めておいてほしいと願っています。

皆さんも楽しみにしてください。さっているとのこと、大変嬉しく思っています。

校長先生の「おはなし玉手箱」

時折、子どもたちに昔話や童話の「語り」をしています。とてもよく聴いてくれるのでこちらも嬉しくなります。7/9(水)には、校長先生の「おはなし玉手箱」として、「おねぼうなじゃがいもさん」というお話をしました。先週、全校生で農園のじゃがいもをたくさん収穫したので、それにちなんだお話にしました。子どもはお話が大好きです。どうぞ、御家庭でも、お子さんと一緒に楽しんでみてください。

・農園の仲間



7/6(日)にPTA本部役員と環境部の皆様が、通学路の草刈りを行っていただきました。早朝からの骨折り有り難うございました。お陰できれいになり子どもたちもさらに安全に登下校できます。大変お世話になりました。

つま先を立て 向日葵と 背比べ



過日、職員に、多湖 輝先生の「今も心に残る「しつけの一言」」という著書を
紹介しました。
保護者や地域の皆様にもお伝えし、子どもたちがさらに健やかに育っていくよ
う、皆様と共に子どもたちを見守り支えていきたいと思ひます。



今も心に残る「しつけの一言」より 多湖 輝 著

「しつけ」とは、子どもを健やかに世の中に送り出す準備

身を美しくする「躰」：身だしなみを整えるだけでなく「心身共に美しく」の意味

着物を縫うときの仕付け糸からきた「仕付け」

最初は周りから仕付けられて人間のかたちを整えられるが、ひとりでも
かたちを崩さずにやっていけるようになると、もう仕付け糸はいらなくなる。
これが本来の「仕付け」

昔のお父さん・お母さんは、このように子どもをしつけました。

- ・「困ったときはお互いさま」 相手の負担を軽くする一言
- ・「弱い者いじめは卑怯者のすること」輝きのある人間を育てる一言
- ・「よその家に電気がついたら帰りなさい」他家に迷惑を掛けないための一言
- ・「ご飯を残しては農家の人たちに失礼です」食べ物大切さを伝える
細心の一言
- ・「歩きながらものを食べてはいけません」本当の美しさは立ち居振る舞いにある
- ・「貧しいことは恥ずかしいことではない」厳しい時代を生きる元気を与えてくれる
- ・「叱られるときは正座をするものです」大切なことがストンと心に落ちてくる一言
- ・「お年寄りを大切にしなさい」年長者を大切にすゝる気持ちを育む一言
- ・「誰も見ていなくてもお天道様が見ているよ」裏表のない子に・神様が頭上に
いることを教える一言
- ・「後ろ指をさされるようなことをしてはいけません」恥について考えさせて
くれる一言
- ・「大人の話に首を突っ込むものではありません」大人の領分・子どもの領分を
はっきりさせる一言



子に伝えたい日本人の美しい「しぐさ」と「習慣」

- ・「刃物は刃の方をもって渡しなさい」
- ・「玄関の履き物は揃えて脱ぎなさい」
- ・「体の前後ろを洗って湯船に入りなさい」
- ・「人を指さしてはいけません」
- ・「ご飯はよく噛んで食べなさい」
- ・「ご飯を食べてすぐ横になると牛になります」
- ・「食事の前にトイレに行っておきなさい」
- ・「口にもものを含んだまま話してはいけません」
- ・「敷居を踏んではいけません」
- ・「きちんとおじぎをしなさい」
- ・「箸ははさんで使うものです」 ※箸の握り方は、しつけの基本だった



夏休みは、お子様と向かい合
う時間が多いですね。
ここでご紹介した言葉が、こ
れからのお子様との関わりにお
いて、少しでも参考になればと
思ひます。
どうぞ、楽しい夏休みを…。

「そんなことを言われたな…」と懐かしく思われた方も多いことでしょうね。
今の子どもたちだからこそ、伝えていきたいと思ひてなりません。

